

## 原稿執筆要領

### 1. 原稿の作成

- 1) 原稿は、Microsoft Word で作成する。
- 2) 原稿は A4 版縦使い横書きで、1 行の文字数を 40 字、1 枚の行数を 20 行 (約 800 字) とし、適切な行間をあける。文字フォントは 10.5 ポイント以上とする。
- 3) 原稿ファイルは和文 (抄録・本文・文献を含む) ,英文抄録 (Key Words を含む), 図 (写真を含む), 表に分ける。
- 4) 原稿の規定文字数

原著 : 11,000 字、研究報告 : 11,000 字、速報 : 3,200 字、事例報告 : 6,400 字以内とする (図、表、文献を含み英文抄録は含まない)。

図・表の大きさや文字数の換算の割合は原則として次の 3 通りとする。

学会誌掲載時 1/4 頁まで 400 字、1/2 頁まで 800 字、3/4 頁まで 1200 字、それ以上は 1600 字とする。

論文は簡素なものを良とするので字数制限を厳守すること。ただし、編集委員会において内容が優れていて、字数が超過していることがやむを得ないと判断された場合に限り、超過掲載料を負担した上で可とする。

**超過掲載料は、投稿規程 8. 論文の掲載料に準ずる。**

### 2. 図表の作成

- 1) 図、表および写真は、図 1, 表 1, 写真 1 など通し番号とタイトルをつける。図表の文字フォントは 10.5 ポイント以上とし縮小せずに 1 ページに 1 点として作成する。図、表の挿入希望箇所は本文の右欄外に明記する。
- 2) 図については、DOC(X), XLS(X), PPT(X), JPG, TIFF, GIF, AI, EPS および PSD フォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする。
- 3) 表については、標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシック, Times New Roman, Century など) を用いた Microsoft Excel で作成する。
- 4) 表は原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示しない。縦罫線かわりに十分な空白を置く。
- 5) 数字は正、負の数に関わらず、同列内の小数点の位置、小数点以下の桁数 (有効数字に応じて) を揃える。
- 6) 表中の数字が理論的に必ず 1 以下になる場合 (相関係数など) は、0 を付け「0.52」のように記載する。





## 2) 単行本の場合

編者名. 書名. 発行地, 発行所, 発行年 (西暦).

① 1) 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 2013.

2) William J. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2012.

## 3) 単行本の一部を引用した場合

著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行地, 発行所, 発行年 (西暦), 頁-頁.

① 1) 松本五郎. 受胎告知. 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 2014, 1 - 10.

2) William J. Family structure. Conn ed. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2012, 1 - 10.

## 4) インターネットの場合

著者名. 資料名. サイト名. 出版 (又はアップデート) 年 (月日) . <URL>

(資料にアクセスした日)

① 1) 東海太郎. 東海学序章. 東海学入門サイト. 2015 .

<<http://toukai.jp/tarou.html>> (アクセス : 2018 年 1 月 15 日)

## 5) 電子雑誌の場合

・ DOI がある学術論文

著者名. 論文名. 誌名. 発行年, 巻 (号), 頁. doi: xx,xxxxxx

Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of article. Title of Journal. Year, vol(no), xxx-xxx. doi: xx,xxxxxx

・ DOI のない学術論文

著者名. 論文名. 誌名. 発行年, 巻 (号), 頁. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of article. Title of Journal. Year, vol(no), xxx-xxx. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

## 6) 電子書籍の場合

・ DOI がある書籍

著者名. 書籍名. 発行年. doi: xx,xxxxxx

Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of book. Year. doi: xx,xxxxxx

・ DOI のない書籍

著者名. 書籍名. 発行年. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of book. Year. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

## 7) 電子書籍の1章または一部の場合

### ・DOIがある書籍

著者名. 章のタイトル. 編集者名(編), 書籍名. 発行年, 頁-頁. 発行所名. doi: xx,xxxxxx  
Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of chapter. William J. (Eds.), Title of book .  
Year, xxx-xxx. doi: xxxxxx

### ・DOIのない書籍

著者名. 章のタイトル. 編集者名(編), 書籍名. 発行年, 頁-頁. 発行所名. <http://www.xxxxxxx>  
Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Title of chapter. William J. (Eds.), Title of book.  
Year, xxx-xxx. Retrieved from <http://www.xxxxxxx>

## 8. 利益相反に関する事項の開示

1) 投稿論文の内容に関し「利益相反に関する規程」に基づき、共著者を含めた全著者は当該論文の利益相反に関する事項について申告書(様式2-1、様式2-2)を用いて状況を開示しなければならない。なお、引用文献の前に「本論文内容に関連する利益相反事項はない。」又は「著者〇〇〇〇は△△△△との間に本論文内容に関連する利益相反を有する。」と記載する。

2019年1月7日より施行する

2019年1月22日一部改正

2019年2月20日一部改正

2021年2月24日一部改正

2022年2月22日一部改正